

梅之木通信

【週末縄文人の会】

第48号 2024.9.23 発行

3号棟の再建が始まりました

今年の夏はことのほか暑く、まさに酷暑日の連続でしたが皆さん生き延びていますか？

猛暑日や最高気温がいたるところで更新されたニュースばかり聞いていると、もうこの気候や気温が普通のものとなり、今までの暮らしとはまったく異なってきてしまっていることを実感せざるを得ません。われわれが子供だった頃には30℃を超えるだけで、「今日は暑い！暑い！」と言って、たらいで冷やしたスイカで涼をとっていたことが嘘のように感じられます。

四季のある温暖な気候が特徴であったはずの日本も、いよいよ亜熱帯地域に分類される日も近いのではないかと考えざるを得ません。

縄文人たちも気候の変化に応じて暮らしぶりを変化させていたと思いますが、今の現代人よりもずっと適応力や対応力が高かったのではないかと思います、見習うべきところがないかと探してしまいます。

❖ 柱・梁の再組立て

9月14日、夏休みの期間中は再建途中で中途半端な組み立てでは危険なため取り外しておいた柱と梁の組み立て作業から秋の作業が始まりましたが、休み前に印をつけていたにも関わらず「富士山の方角は東の印？南の印？」と、一か月前のこともあやふやな仲間たちです。

今回の再建では、柱が短くなった分土中に柱を埋めることができないので、平らな石の上に柱を乗せる方法で柱を立てますが、筋交いで柱を支えながら4本の柱を一気に立てないと倒れてしまいみんなの協力姿勢が試されます。

それぞれの辺を仮の垂木で支えて、なんとか形になってきました。

しかし、柱と梁を紐で結び付けるだけで垂木全体を支え切れるかどうか？初めての建て方なので不確定要素がいっぱいです。



✿ 垂木設置



垂木の本数が増えてくるにつれて全体もだんだんしっかりとしてきました。

今回は垂木の底端部を埋めずに礎石で支えます。



垂木の角度を 30 度に調整しながら垂木の底位置を決めていきます。

前回の 35 度よりなだらかになり、木材のまっすぐな部分を使うことにより、以前よりきれいな姿に。



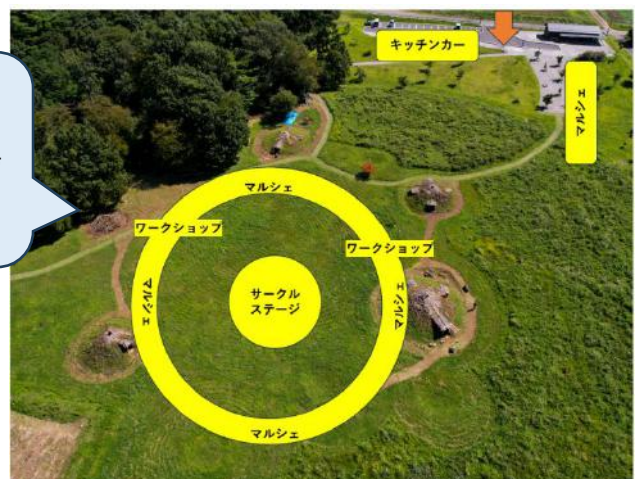
✿ うめのきウキウキフェスティバル



- * 歩く <茅が岳歴史文化研究所>
歴史ウォーク
- * 食べる <明野あったかマルシェ>
飲食、販売 20店舗以上
- * 学ぶ <週末縄文人の会>
火起こし体験、石斧体験

週末縄文人の会では、
* 火起こし体験
* 石斧での伐採体験
* 3号棟再建体験
* 凧づくり
のワークショップを担当

環状集落全体
がイベント会場
となります



- ✦ 9/28 ふるさと倶楽部まつりでは、今年も「週末縄文人の会」コーナーを開設します。お立ち寄りください。
- ✦ 10/26 うめのきフェスティバルでお手伝いいただけるスタッフを募集しています。多くの方に参加いただいてイベントを楽しんでいただければと思います。